

2024 AUTOBACS SUPER GT

Round3 SUZUKA 3Hours RACE

日産愛知自動車大学校

学生広報 レースレポート



NISSAN REALIZE YOKOHAMA Nissan MobilityService 日産車体 Logisnext UD TRUCKS ALTA PRESTIGE INTERNATIONAL

株式会社ゼロ 日産モータースポーツカスタマイズ ROCK PAINT SPEARS COAT Quick Pro Paint パーソナルメンテナンス TOPPAN Energywith エムエスピー UNICO

NGK NTK MAL TOOLS KMMOTO Deff SUNTORY 日産 日産 日産 PUMA LSI G.L. KSB Arai Rizoo

日産神奈川 日産東京 日産大阪 日産プリンス福岡 埼玉日産 日産プリンス埼玉 岐阜日産 愛知日産 日産プリンス名古屋 滋賀日産 京都日産 兵庫日産 愛媛日産 鹿児島日産

香取日産 日産青森 日産サテライト前 日産プリンス宮城 秋田日産 日産プリンス秋田 福島日産 栃木日産 日産プリンス栃木 群馬日産 長野日産 山梨日産 日産サテライト埼玉 千葉日産 日産自動車販売
三重日産 日産プリンス三重 静岡日産 日産プリンス静岡 浜松日産 日産プリンス浜松 奈良日産 和歌山日産 日産プリンス和歌山 日産プリンス徳島 日産プリンス山口 香川日産 日産福岡 日産サテライト岡山 長崎日産
日産プリンス長崎 日産プリンス大分 福岡日産 北見日産 岩手日産 盛岡日産モーラー 日産プリンス岩手 日産サテライト秋田 新潟日産 日産サテライト新潟 甲斐日産 日産プリンス山梨 日産サテライト千葉 日産サテライト青森 山形日産 日産サテライト山
石川日産 福井日産 富山日産 滋賀日産 日産サテライト愛媛

< レース結果 >

予選 6/1(土)・・・26位

Q1のタイムアタック中、セクター4にて前を走るマシンがスピンをし失速をしてしまった REALIZE NISSAN MECHANIC CHALLENGE GT-R でしたが、すぐに戦略をタイヤの温存(寿命)に焦点をあて、「何か特別な戦略ができるかもしれない。私たちは明日のレースだけに集中しています」「ポジションは悪いですが、チームとしても戦略だったり強いチームなのでコツコツ追いつけていきたいと」とジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ選手と佐々木選手は前向きに語りました。

決勝 6/2(日)・・・16位

ウォームアップ走行とは一転してスタート前には太陽が顔を出し、KONDO RACINGをはじめ各チーム、ドライタイヤに変えた決勝。

26番手からレースを開始した REALIZE NISSAN MECHANIC CHALLENGE GT-R は速さを見せ順調に順位を追い上げましたが、16位でチェッカーを受けました。KONDO RACING にとっても私たちにとっても悔いが残る結果になりました。



< NISSAN GT-R NISMO GT3 とは >



“エンジン:VR38DETT

総排気量:3,799cc

最大出力:405kw 以上/6,500rpm(550ps 以上/6,500rpm)

最大トルク:637N・m 以上/5,000rpm)

FIA(世界自動車連盟)が定めるグランドツーリングカー部門の車両カテゴリーのひとつ「GT3」。

自動車メーカーが開発したレース専用車両と指定部品で登録し、世界の名だたるスポーツカーメーカーがこぞって開発しています。

2012年に登場し、これまで改良を続けてきた2015-Specをゼロから見直し、大幅に性能向上させたNISSAN GT-R NISMO GT3 2018-Spec。

NISSAN GT-R NIOSMO GT3は、世界中のさまざまな耐久レースで戦ったチーム/ドライバーからのダイレクトなフィードバックを元に、車両性能は高い戦闘力を維持したまま、あらゆる環境下でドライバーが100%のパフォーマンスを発揮できるよう、ステアリングの操作性や室内環境が大幅に向上されています。“

参考:<https://www.nismo.co.jp/products/customerracing/racingcar.html>



< 56号車の概略 >



○チーム体制

車両名……………REALIZE NISSAN MECHANIC CHALLENGE GT-R

使用車両……………NISSAN GT-R NISMO GT3

カーナンバー…56

チーム名……………KONDO RACING

チーム監督……近藤真彦氏

ドライバー……………佐々木大樹選手

ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ選手

タイヤ……………横浜ゴム

○過去の戦績

2019年: SUPER GT GT300に初参戦。

シリーズ6位で終える。

2020年: 参戦2年目ながらシリーズチャンピオン獲得。

2021年: チャンピオン争いをするが惜しくもシリーズ2位で終わる。

2022年: 2度目のシリーズチャンピオン獲得。

2023年: 第2戦で優勝したが、シリーズ3位で終える。

文: 大石

< 近藤真彦監督 インタビュー >



Q1.スーパー耐久の24時間レースで16年ぶりにレースに復帰して、選手時代と監督を経験してから、考え方や責任感に違いはありましたか？

A. 選手はヘルメットを持ってきて、レーシングスーツに着替えて車に乗って良いタイムを出すことが仕事、監督はディレクターとしてチームをまとめることが仕事。だから、選手と監督は全然違う仕事に感じるよね。

今まではレースやるためにはどうしたらこの事業が成功するかのかばかり考えていたけどヘルメットを被ってサーキットを走ったら、やっぱりレースってこれだよなって感じだった。

Q2.人間にとって本当に必要なのはアクセルかブレーキどちらだと思いますか？

A. 俺はもうアクセルしかないね。レース界全員アクセルって言うんじゃないかな。だけど、アクセルってベタッと踏みっぱなしだと事故が起きるから、次にすごく急なコーナーが来るとすると少し緩める、またまっすぐな道が来たら踏む。

俺はそんな感じで先を見て、アクセルをコントロールしながら運転しているかな。

文：岩下

< 佐々木大樹選手 インタビュー >



Q. 人間にとって本当に必要なのはアクセルかブレーキどちらだと思いますか？

A. 僕はブレーキですかね。やっぱり自分を制御できることがすごい重要だと思っています。確かにイケイケでいけば楽しいこともあると思うけど、必ず油断も生まれるし、ミスも増えてくるので、ここは行っていいポイント、行っちゃいけないポイントが一番人間においてリスクが高いことだと思うからそこで、ブレーキを踏み込める人が人生成功すると思います。

文：田端

< ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ選手

インタビュー >



Q. 人間にとって本当に必要なのはアクセルかブレーキどちらだと思いますか？

A. 私はもちろんアクセルです！

何かをするときは、必ず目標があり、その目標を達成するためにはモチベーションが必要です。壁や困難にぶつかった時にブレーキを踏むと目標を達成できません。だから私にとってのモチベーションはアクセルオンすることです。また、アクセルオンすることは私の人生の目標を維持することです。

文：田端

< 鈴鹿サーキット(三重県)にちなんだ質問 >

Q.三重県の津市にはベビースターなどを販売しているおやつカンパニーの本社があります。それにちなんだ質問で、小さい頃食べていたお菓子と今でもよく食べるお菓子はありますか？

近藤真彦監督

ベビースターはめちゃくちゃ画期的でよく食べていたね。今の子達も食べているのかな？

俺たちが子供の頃は、4分の1ぐらいの大きさのベビースターが駄菓子屋さんでよく売っていたよ。美味しいよね、ベビースター。

佐々木大樹選手

難しいですね。サーキットに来るとお菓子だらけなので、いろいろ食べるけど、のり塩のポテ子とか小さいカルパスが好きでよく食べます。

ちなみにベビースターは丸の形で入っている方が好きです。

ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ選手

子供の頃、日本にあるかはわからないけど、毎日のように貝の形をしたコーンフレークをよく食べていました。今は、チョコレートクッキーをよく食べます。今回の鈴鹿でもたくさん食べました。

< 松川校長先生 インタビュー >



Q1.メカニックチャレンジの醍醐味はありますか？

A. レースの緊張感やお客様対応などのことについて学べたり、学年や学校間を超えて様々な方と関わることができたりと、参加した学生さんだけが体験できることが多くあります。なので、学生さんにはどんどんこの活動に参加し、自分の成長に繋げて欲しいです。

Q2.松川校長先生がもし学生だったらどの領域をやってみたいですか？

A. 各領域にそれぞれの学びがあるから私がもし学生で4年間いたら1個ずつしっかりやってみたいです。

文：兼重

< 日産販売会社

テクニカルスタッフ インタビュー >



愛知日産自動車株式会社
中島 雅志さん
(愛知校 11期生)

Q. ディーラーに就職する前に
学校で学んでおいた方が良い
ことはありますか？

A. ディーラーだけの話ではないですが、社会に出るとコミュニケーションが必要になります。なので常に基本的な挨拶など自らコミュニケーションをとりに行った方がいいと思います。

あとは、作業をしていてわからないことがあったら素直に聞くことです。わからないまま作業をすると後で取り返しのつかないことになるので聞く努力も必要です。

日産プリンス名古屋販売
株式会社

小原 雅人さん
(愛知校 27期生)

Q. ディーラーに就職する前に
学校で学んでおいた方が良い
ことはありますか？



A. 自動車の整備においてタイヤの脱着や部品をトルク締めするときなど力を使う場面が多くあります。なので今のうちに力の入れ方を覚えておけば将来楽に作業ができると思います。また、日常点検や車検整備などの基本的な作業をできるようになれば、ディーラーに就職したときに困らないと思います。

文:大石

< 学生インタビュー >



副統括 2年
神谷 俊介

Q.副統括の立場では、何が大事で、どのような役割だと思いますか？

A.副統括として、人が最も活躍できる指示を出すことが大事で、学生により性格や考え方が異なるので、その人の能力を最大限発揮させる指示をする役割だと思います。

テクニカル 2年
掛井 凱紀



Q.プロの仕事を見て何か発見したことはありますか？

A. 危険な作業が多くあるので、チーム一丸となって息を合わせ、コミュニケーションをとり、トラブルなどに繋がらないよう意思疎通することの大切さを発見しました。

文：一ノ瀬



ドライバーサポート 2年
近藤 真衣

Q. 今回の活動から今後役に立たいことはなんですか？

A. ドライバーサポートという仕事を近くで見ていると、選手のタオルやドリンクをすぐ渡したり、ゴミ捨てやドリンク補充、グローブやヘルメットを乾かすなど細かいところの気配りをほぼ1人で行って見ました。私もそういうところを見習って、今後の学校生活や仕事に役に立たいと思いました。

文：兼重



< あとがき >



私たちは、富士戦に続き、自動車メディアのベストカーWeb 編集長の指導のもとでインタビューの仕方や、ただ動画を撮るのではなく、よりその場の状況が伝わりやすい動画の撮り方など、プロの仕事を手近に体験できる機会を作って頂き、人間としての成長につながる学びが多くありました。

私たちは、5人中4人が広報初心者ということで想像つかないことが多く行き当たりばったりで戸惑うことも多々ありましたがとてもやりがいを感じられる、活動だったと身にしみて感じています、また活動を通して自主制、主体性の大切さや今後の人生の糧になる経験を、普段の学校生活では学べないことを学ぶことができました、またプロの方々と一緒に活動していく中で多くの気づきがありました、今後の活動に活かしていきたいと思います。

最後になりますが、KONDO RACING様やスポンサーの皆様、広報支援部の方々を始め日産自動車様、ベストカー様など様々な方のご支援があって成り立っている事を学生一同、心より深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

学生広報 統括 大石達也 田端秀哉 一ノ瀬正志

岩下愛花 兼重匡孝